



環境報告書 2021

(2020 年度実績)



株式会社 駒井ハルテック





目 次

	経営理念	2
	環境・品質方針	2
	中期経営計画	3
	環境マネジメントシステム	6
	環境との調和	10
	橋梁建設（架設）現場での環境に対する取組	18
	地球温暖化防止への取組	22
	環境製品への取組（実績紹介）	23
	会社概要	24



富津工場



和歌山工場

※表紙写真：三浦宮川風力発電所



経営理念

『高い技術力で 夢のある社会づくりに貢献する』



環境・品質方針



基本理念

当社は、「高い技術力で、夢のある社会づくりに貢献する」との経営理念の下、以下の活動を通して社会的責任を果たす。

当社は、国民の生活基盤となる橋梁、鉄骨、風車などの製造、建設事業を通じて社会資本の整備に貢献しつつ、生産、建設過程における使用エネルギーや排出物（CO₂、産業廃棄物など）等の環境負荷要因の低減に取り組む。



方 針

1. 環境・品質マネジメントシステムの実効性を高める。
2. 「顧客満足」をいただける製品の提供とサービス向上に努める。
3. 環境負荷低減を目指した企業活動を展開する。
4. コンプライアンスおよび内部統制システムの成熟に努め、責任ある企業活動を展開する。



「中期経営計画2019」中間年度に当たり、スピード感を持った変革で成長軌道へ

2020年度は、年度初めから新型コロナウイルス感染拡大による「緊急事態宣言」発出からのスタートとなり、緊急事態宣言解除に伴うリバウンドでの感染拡大、「緊急事態宣言」再発出の繰り返しとなり、わが国だけでなく世界中で経済活動が制限され、深刻なダメージを受けた一年となりました。

新型コロナウイルスの収束は不透明であります、今後世界中でワクチン接種が浸透することにより徐々に落ち着きを戻してくるものと予想します。

そのような異常な状況の中での年度スタートとなりましたが、当社グループが属する橋梁、鉄骨、環境の業界においては、新型コロナウイルスの影響は運輸業、観光業、飲食業ほど大きくはありませんが、計画の見直しや発注の延期等少なからず影響が生じています。

橋梁は新設橋梁の発注量が減少し、補修保全工事の割合が増加する中、新設橋梁の受注競争は熾烈を極めていきます。また、技術者の高齢化が進み、人材確保、人材育成も喫緊の課題となっています。一方、鉄骨は首都圏を中心に多数の再開発計画があるものの発注の狭間が長引き、今後短期間で仕事が集中することが懸念されることと、橋梁同様、建設に携わる就業者の減少と高齢化が顕現化しています。環境は世界中での気候温暖化対策、カーボンニュートラルへの取り組みが進む中、再生可能エネルギーが更にクローズアップされており、当社が手掛けている風車の需要が高まることが期待されます。

厳しい事業環境が続く中、当社は「高い技術力で夢のある社会づくりに貢献する」の経営理念のもと、「中期経営計画2019」のテーマである「持続可能な社会の実現を目指し、健全な企業の成長を図る」を掲げ、「中期経営計画2019」最終年度に向けて、加速をつけて邁進してまいります。

また、働き方改革のさらなる推進、ITを活用したDXの推進にも積極的に取り組むと共に、SDGs、ESGを視野に入れ、環境にやさしい企業を目指してまいります。

当社は昨年10月に合併10周年を迎え、今後10年、20年後を見据え、若い力とベテランが融合して、新たな企業価値創出にも積極的に挑戦してまいります。

取締役社長 中村 責任





中期経営計画



中期経営計画2019の概要

基本方針を「持続可能な社会の実現を目指し、健全な企業の成長を図る」とし、4つの基本方針及び事業方針に基づく具体的な施策に取り組み、目標達成を目指しています。

< 4つの基本方針 >

1. 持続可能な社会の実現とコーポレートガバナンスの充実
2. 継続的な成長と発展
3. 信頼されるサービスの提供と技術の開発
4. 働き方改革の推進

< 4つの事業方針 >

1. 橋梁事業は、総合力を高め、多様な構造物の受注確保と収益力の強化
2. 鉄骨事業は、技術力と顧客の信頼で受注拡大と収益力の強化
3. インフラ環境事業は、コスト競争力の強化と差別化によるチャレンジ
4. 内部統制の充実、働き方改革及び新規事業の開拓で人と企業の成長



中期経営計画



中期経営計画の進捗

２０２０年度（２０２１年３月期）における売上高、営業利益は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響などにより、前年度から売上高は減少いたしました。営業利益は増加いたしました。計画の中間年度となる２０２１年度は、具体的施策の実施を一層加速させ、受注の拡大および収益の改善へと繋げていきます。

<これまでの代表的な実施施策>

- ・ KHファシリテックの連結子会社化
- ・ 国土交通省の橋梁工事において高評価を頂き、受注競争力が強化
- ・ 首都圏の大型再開発関連工事、海外橋梁・鉄骨工事において、鉄構、橋梁、海外事業の総合力を結集した生産体制で施工
- ・ 小規模補修～大規模更新工事を受注し、現場施工中
- ・ RPAを活用した働き方改革への取り組み
- ・ ドローンを活用した現場測定の精度向上に向けた技術開発への取り組み
- ・ 若手育成に向けた「KH未来づくりプロジェクト」の立ち上げ

新設橋梁の発注量減少、鉄骨での端境期の長期化等、厳しさの続く発注環境下での熾烈な受注競争、技能者・技術者不足や材料費など建設コストの高騰など、予断を許さない状況が依然として続くと思われ続けます。

このような社会の変化、厳しい事業環境に対し、スピード感を持って具体的施策を推し進め、中期経営計画の最終目標達成に向けて取り組みます。



環境マネジメントシステム



会社年度方針（2020年度）

『新たなステージへの改革実行で、グループの持続的成長を図る』

1. 社会的責任活動の推進 …収益と並んで求められる企業価値の向上！
2. 業務改革の実行による収益改善 …危機意識と収益を重視！
3. 技術力と安全・品質意識の向上 …企業価値の維持向上！
4. 働き方改革意識の向上 …残業抑制ではない改革実行への意識改革！



環境年度目標（2020年度）

1. 環境負荷の低減
2. 環境側面管理
3. 富津、和歌山、大阪事業所の廃棄物排出量の把握
4. 3Rのうち、リデュース(減量)への取組みの強化
5. ステークホルダーへのアピール



環境マネジメントシステム



主要事業所（サイト）における環境マネジメントシステムへの取組

・富津工場

部門項目	具体的施策	結果
1. 環境負荷低減 原単位－2％／前々年度	- 不具合削減の取組み 品質委員会を年14回開催し、再発防止対策の実施確認と改善で削減 - 空調使用の削減 各フロアの責任者を決め対応強化	- 場内で修正した不具合237円/t（昨年度605円/t） - 原単位 前々年度比 22.6％減
2. 環境側面管理 使用電力の削減	- ピーク電力対策 日中消灯の確認強化 データ管理表を作成し状況確認をすることで、使用電力を把握 使用電力管理表で節電を周知・実施 - 環境影響評価表等を環境・省エネ委員会で周知し、各部門へ展開	- 毎月の使用電力量把握： 使用電力量/操業時間比 ＝目標値5.8％超過 （大電流溶接2交代制による増） - 環境側面を理解させた。
3. 産業廃棄物排出量の把握	産業廃棄物管理表の継続作成と委員会にて周知・展開・活用	月次で産業廃棄物管理表を取りまとめ、削減を意識付け
4. 3Rのうち、リデュース(減量)への取り組み強化	- 委員会を通して混合廃棄物の削減意識（分別の周知徹底）を啓発 - 協議会等を通じて産廃分別ルールを周知し、削減意識を啓発 - プリント取り忘れ、不要印刷の撲滅を啓発 - 近年増加の外国人作業者のために外国語で掲示板を作成し周知	- 混合廃棄物 前年同期比 －50, 583kg - 削減意識の向上 - 毎月産業廃棄物管理表を作成 - コピー機毎の使用状況を確認 プリンターと複合機の見直しを実施。複合機の導入時には、すべてカード式を採用
5. ステークホルダーへのアピール 地域との関わりの中での活動の実施 (地域交流、近隣清掃1件/年/サイト)	- 青木自治会 さくら祭り - 富津八坂神社祭礼(神輿) - 工場周辺の清掃活動	- 清掃活動を実施 - 他は新型コロナ感染予防につき今年度は中止

・和歌山工場

部門項目	具体的施策	結果
1. 環境負荷の低減 ・不具合削減の取組み 原単位 －2％／前々年度 ・空調使用削減（グリーンカーテン設置、温度調整、ドア・窓開放）	- 不具合290円/t・UTNG率4.0％目標。各種会議にて重点項目として未然防止に取組む - グリーンカーテン設置、電力ピーク時の電力停止	- 不具合(単価ベース) 494円/t - UTNG率10.1％ - 原単位 前々年度比 31.0％減 - グリーンカーテン設置し良好
2. 環境側面管理 ・事務所、場内管理による分別収集。 ・事務部門での積極的取組み(グリーン購入、事務用品再利用) ・ピーク電力対策	- 水銀分別継続実施、特化則対応検討実施 - 環境省エネ小委員会で啓蒙 書類の電子化、回覧板使用 - 環境省エネ小委員会、日常監視継続	- 各種委員会、パトロール監視を通して実施 - コピー紙再利用などで実施 - 数回、ピーク電力超過
3. 廃棄物排出量の把握 ・産業廃棄物量管理表の継続作成と活用・報告	環境省エネ小委員会にて報告、削減への意識付け実施	作成継続・報告し、小委員会で周知・活用、効果確認
4. 3Rのうち、リデュース(減量)への取り組み強化 ・混合廃棄物の減量（分別の徹底） ・廃棄物(リサイクル)量の把握	- 管理表にて把握 - 環境省エネ小委員会にて報告・確認 - 分別は徹底して行動実施 - プラストダストをスクラップ化	廃棄物量 昨年比15％減
5. ステークホルダーへのアピール ・地域との関わりの中での活動の実施 (地域交流、近隣清掃1件/年/サイト)	- 由良町古紙回収協力 『リフレッシュ瀬戸内』海岸清掃活動	- 中学校の古紙回収 - 小学校の古紙回収次年度送り - コロナ禍により本年度中止



環境マネジメントシステム



主要事業所（サイト）における環境マネジメントシステムへの取組

・本社

部門項目	具体的施策	結果
1. 環境負荷の低減 ・原単位 ー2%/前々年度 ・従業員の節電意識の向上 ・空調使用の削減 ・クールビズ、ウォームビズの実施	・継続的啓蒙活動 ・電気使用状況の報告 ・通年のドレスコードフリー化	・不在時の消灯、パソコン電源オフ等を啓蒙 ・4階空調、18時自動オフを継続 ・クールビズ：5月～10月末 ・原単位 前々年度比 7.64%減
2. 環境側面管理 ・各フロア各部署が統一して取組めるように設定 ・設定の管理項目の履行と効果の検証	・環境側面の展開周知	・環境側面の理解 ・電気使用量、7%減少 ・フロン法対応、空調機点検実施
4. 3Rのうち、リデュース(減量)の取組強化 廃棄物の削減 ・タブレット導入によるペーパーレス化 ・テナントビル方針に合わせたゴミ分別 ・環境製品購入および再利用の促進 ・廃紙、廃棄物の削減	・タブレット使用の推奨 ・テナントビル方針の周知 ・コピー・廃棄物の状況報告	・削減意識の向上 ・会議でのタブレット使用によるペーパーレス化を推進して、コピー機(枚数ベース)35%削減 ・分別を徹底 ・可能な限り“環境製品”を選定 ・機会を捉えて周知し、認識向上からの削減行動を企図
5. ステークホルダーへのアピール ・地域との関わりの中での活動の実施(地域交流、近隣清掃など、1件/年/サイト)	・ライトダウンキャンペーン(環境省)を自主継続 ・台東区 大江戸清掃隊への参加	・7月の実施 ・毎月第3水曜日の個別活動実(4、5月はコロナ禍で中止、5月の区全体活動はコロナ禍で中止)

・本店

部門項目	具体的施策	結果
1. 環境負荷の低減 ・原単位 ー2%/前々年度 ・従業員個々の節電 ・空調使用の削減	・不要な照明のOFF、終業時のPC電源OFF ・PC照度調整の呼びかけを実施 ・窓やドアの開放、冷暖房と送風の切り替え、こまめな温度調節、扇風機の使用等	・原単位 前々年度比 10.7%増 コロナ感染防止として換気を積極的に行っているため、空調設備の負荷増が要因となり原単位が増加
2. 環境側面管理 ・著しい環境側面の管理	・電力使用、ごみの分別、事務用品の取扱い等	・1及び4の施策にて対応
4. 3Rのうち、リデュース(減量)への取組みの強化 ・環境製品購入 ・廃紙、廃棄物の削減 ・ゴミの分別 ・昼食等の持ちゴミの削減	・購入品は、環境製品の選定を実施。 ・社内のプラカップを廃止 ・テナントビル清掃方針によるゴミの分別を実施 ・コンビニ等のゴミを持ち込まない様に協力要請を継続中	・可能な限り“環境製品”を選定 ・プラスチックごみの削減 ・テナントビルおよび大阪市方針に従い、分別が定着 ・廃紙抑制のため、コピー枚数等の見える化をし、意識改善 ・コンビニゴミの社内廃棄を禁止
5. ステークホルダーへのアピール ・地域との連携による清掃活動への参加(地域交流、近隣清掃など、1件/年/サイト) ・ライトダウンキャンペーン(環境省)を自主継続(1回/年)	・『大阪市清掃クリーンUP作戦』に参加(12/2) ・ライトダウンキャンペーン6月、7月に実施	・本店周辺の清掃活動への継続参加により、参加者の自主的行動につながるなど、意識がアップ ・2日間で64kwhの削減と意識付け



環境マネジメントシステム



主要事業所（サイト）における環境マネジメントシステムへの取組

・大阪事業所

部門項目	具体的施策	結果
1. 環境負荷の低減 ・原単位 ー2%/前々年度 ・悪化の場合原因を類推し対策すること	・省エネパトロールの実施（月1回）による省エネ活動の徹底 ・グリーンカーテン設置による空調機電力の削減 ・工場屋根への遮熱塗装の施工による空調機電力の削減	・原単位 前々年度比 34.0%増 2018年度は新しいブレード型を導入し低操業の年で、電気使用量が少なかったため環境負荷は大幅増 ・省エネパトロール、グリーンカーテンとも実施 ・工場屋根への遮熱塗装の体感効果あり、定量評価不可
2. 環境側面管理 ・設定の管理項目の履行と効果の検証	・省エネ推進委員会での動態観測の実施	・計画通り実施
3. 廃棄物排出量の把握 ・産業廃棄物量（事業系ごみ含む）を月次集計し、四半期毎に報告すること	・産業廃棄物管理表を作成しサイト内周知と報告を実施	・計画通り実施 ・管理表作成、省エネ委で情報共有 ・水銀使用製品の産廃分別実施
4. 3Rのうち、リデュース(減量)への取組みの強化 ・ごみ減量に係る取組みの立案・実施 取組みの効果を検証・評価し、継続・変更を検討すること	・省エネパトロールの実施（月1回）によりごみ減量を推進 ・展示会招待状・クリスマスカードを電子化 ・省エネ推進委員会で動態観測を実施	・計画通り実施 ・計画通り実施 ・省エネ推進委員会において動態観測情報を共有
5. ステークホルダーへのアピール ・地域との関わりの中での活動の実施（地域交流、近隣清掃など、1件/年/サイト）	・大阪市一斉清掃クリーンUP 作戦へ参加 ・ライトダウンキャンペーンの自主継続 ・関西エコオフィス宣言実績報告の提出	・予定通り参加、実施 大阪市より感謝状を受領 ・予定通り実施 ・予定通り実施

・テクニカルセンター

部門項目	具体的施策	結果
1. 環境負荷の低減 ・原単位 ー2%/前々年度 ・従業員の節電意識の向上 ・空調使用の削減 ・照明設備のLED化	・電気使用状況の報告(省エネ小委員会) ・継続的啓蒙活動 ・9月に照明設備(灯具)を蛍光灯からLEDに変更	・原単位 前々年度比 5.7%減 橋梁設計の移転による16名程度の増員に反して減じたので、LED化の効果と評価 ・換気しながらの空調使用
2. 環境側面管理 ・省エネ小委員会の実施 ・省エネパトロールの実施 ・防災防火訓練の実施 ・BCP 用発電機の試運転の実施	・環境側面の展開周知 ・持回りで各部署の環境パトロール実施 ・地震時出火の避難訓練・消火訓練実施 ・発動発電機の使い方を持ち回りで実施	・環境側面の理解 ・削減意識の向上 ・危機管理意識の向上 ・危機管理意識の向上
3. 3Rのうちリデュース(減量)の取組み強化 ・タブレット導入しペーパーレス化 ・廃棄物の分別、リサイクル量報告 ・廃紙の有価物としての引き取り	・タブレット使用の推奨 ・ゴミの分別、リサイクル量の報告(省エネ小委員会) ・廃コピーの状況報告(省エネ小委員会)	・削減意識の向上 ・第2次松戸市地球温暖化対策事業(旧減CO2)を継続実施 ・廃棄物の分別実施 ・リサイクル定量化、換金化実施
4. ステークホルダーへのアピール ・地球温暖化対策地域推進計画 ・ライトダウンキャンペーン(環境省) ・エコキャップ活動 ・職場見学・職場体験の受け入れ	・松戸市「地球温暖化対策地域推進計画」の対象項目に沿って取組み ・ライトダウンキャンペーンの自主継続 ・2月中旬エコキャップ回収・送付 ・地域交流会(地元小中学生の課外授業)の実施 ・松戸TC周りの道路清掃	・予定通り参加、実施 ・予定通り実施7月実施 ・予定通り実施(4, 558個) ・コロナ禍、要請無く未実施 松戸市教育委員会に小中学校の体験学習、会社見学の受け入れ企業として登録 ・近隣清掃2回/年実施



環境との調和



富津工場



当社では、設置場所の気象、地形条件等にあった風力発電機の開発・生産に力を注いでいるところですが、継続的な研究・開発に資するとともに、2006年9月に1号機を、2014年2月に2号機を設置し、富津工場における橋梁・鉄骨の生産工程の電力源として、再生可能エネルギーを使用しています。



富津工場：風車1，2号機（奥が2号機）

富津工場における風力発電の概要

設置者	株式会社 駒井ハルテック	
設置場所	千葉県富津市新富（駒井ハルテック内）	
用途	工場用電源 および 売電	
風力発電機	1号機	2号機
定格出力	300KW × 2基	
運転風速	3 ～ 25m/秒	
稼働開始	2006年9月	2014年2月

2020年度 富津工場における風車による発電量

（単位：KWh）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1号機	39,380	40,759	33,385	34,557	13,940	29,489	37,330	29,757	23,017	35,098	48,032	35,611
2号機	41,950	39,595	30,754	50,870	25,363	36,657	35,688	30,811	23,103	30,201	33,607	34,240
合計	81,330	80,354	64,139	85,427	39,303	66,146	73,018	60,568	46,120	65,299	81,639	69,851

風力による発電量が、富津工場の全使用電力量に占める割合（風力発電寄与率）は、年間約15.8%となっています。

◎ 地域交流



歴史ある富津八坂神社祭礼において、神輿応援隊を結成し、富津市東区の神輿渡御に毎年参加しています。（新型コロナウイルス予防につき今年度は中止になりました。）





環境との調和



和歌山工場



和歌山工場では、コロナの影響で、毎年恒例となった海岸清掃のボランティアが取りやめになりました。地域貢献のため、地区清掃を行いました。さらに、古紙回収運動にも参加して、地域に貢献しています。グリーンカーテンにも取り組みました。

◎ 地区清掃

(2020. 06. 07)



◎ 事務所グリーンカーテン

(2020. 07. 29)



◎ 海岸清掃「リフレッシュ瀬戸内」

(コロナ禍で中止)



◎ 古紙回収：白崎小学校 (2020. 11. 07)



本社



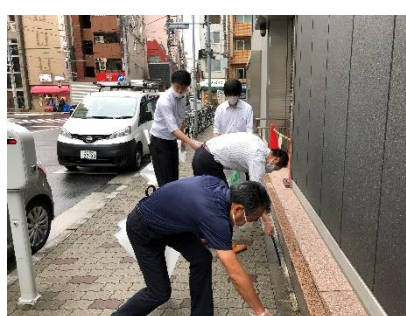
本社では、台東区の清掃活動「大江戸清掃隊」に参加しています。新型コロナウイルス感染症の東京都内の感染拡大状況を見て是非検討をしつつも、結果的に6月以降は休まず実施となりました。

また、ごみの分別の仕組みを整え、紙コップに価格を明示するなどして、再利用や使用を減らす社員意識の向上を試みています。

大江戸清掃隊



ごみ分別





環境との調和



大阪事業所



大阪事業所では、環境省の呼びかけで始めた「CO2削減／ライトダウンキャンペーン」を継続するとともに、毎年恒例となっている「グリーンカーテン」を設置し、遮熱効果による空調機への負荷低減を図るなどして、夏期の電力使用量の削減に貢献しています。

◎ グリーンカーテン



事務所 南西側



事務所 北東側



大阪本店・大阪事業所



本店・大阪事業所では、毎年参加している大阪市主催の「大阪マラソン “クリーンUP” 作戦」に参加予定でしたが、コロナ禍で中止になり、それに変わる大阪市一斉清掃クリーンUP作戦へ12月2日参加し、各々のオフィス近隣の清掃活動を行いました。

・本店 (2020. 12. 2)



・大阪事業所 (2020. 12. 4)





環境との調和



大阪本店・大阪事業所では、環境省の呼びかけで始めた「CO2削減／ライトダウンキャンペーン」を、自主的に継続実施しました。

※ 環境省による呼びかけは2019年4月をもって終了となりました。

大阪本店 ライトダウン (2020. 7. 8)

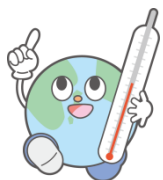


大阪事業所 ライトダウン (2020. 7. 9)



◎ 関西エコオフィス運動に参加

大阪本店、大阪事業所、和歌山工場は、運動の趣旨に賛同し「関西エコオフィス宣言事業所」に登録しています。



■ 「関西エコオフィス運動」

京都議定書を生んだ京都を有する関西が、全国に先駆け、地域全体が一致協力して、地球温暖化対策に取り組むことが責務であるとの認識のもと、身近なところからの省エネルギー等の取り組みを実施する事業所（オフィス）を募集し、地球温暖化防止活動の裾野を広げていく運動。





環境との調和



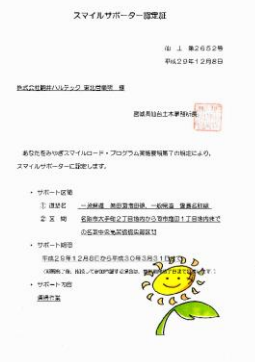
東北営業所（仙台）



東北営業所では、「名取中央高架橋上部工（床版工）工事」（宮城県仙台土木事務所）の完成後、2017年より「みやぎスマイルロード・プログラム」に参画し、スマイルサポーターとして名取中央高架橋の清掃活動に取り組んでいます（4回/年）。また、地域貢献として広瀬川一万人プロジェクトに協賛しており、2016年より広瀬川の清掃活動に取り組んでいます。（2回/年）

(2020. 10. 9)

(2020. 12. 25)



テクニカルセンター

テクニカルセンターでは、松戸市が2009年3月に策定した「松戸市 減CO2（げんこつ）大作戦（松戸市地球温暖化対策地域推進計画）」に賛同し、2010年12月に「松戸市 減CO2（げんこつ）宣言事業所」として登録し、2011年5月には[AAA（最高ランク）]に昇格して、現在も活動を継続しています。



■ 松戸市 減CO2（げんこつ）大作戦（松戸市地球温暖化対策地域推進計画）が、2018年度から「第2次松戸市地球温暖化対策事業」としてリニューアル。テクニカルセンターも松戸市地球温暖化対策事業所として引き続き登録しました。

■ エコキャップ運動

エコキャップ運動の目的「リサイクルの促進、CO2の削減、売却益で発展途上国の医療支援、障がい者・高齢者雇用促進」に賛同し、ペットボトルのキャップの収集を行っています。

※ 今年度は4,558個（10.6kg）を集め、33.39kgのCO2の発生を抑えることが出来ました。





環境との調和



■ 職場体験学習を、2019年11月8日（松戸市立第五中学校、6名）、2019年11月27日～28日（松戸市立常盤平中学校、3名）に実施しました。引き続き実施の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防対策の影響で、2020年度は中止となりました。（下写真は、過去の実施状況）

松戸市立常盤平中学校



松戸市立第五中学校



■ 松戸テクニカルセンターでは、天井照明の全館LED化により、電力消費削減を図りました。

施工前 (2020. 8. 28)



施工後 (2020. 9. 5～2020. 9. 12)





環境との調和



インフラ環境事業部



風力発電システム



■ 産業技術総合開発機構（NEDO）「エネルギー消費の効率化等に資する我が国技術の国際実証事業／実証／風力発電システムを含むエネルギーインフラ実証事業（ロシア連邦サハ共和国）」の一環として、ロシア連邦サハ共和国ティクシ（Tiksi）村に、当社製風力発電機を3機納入しました。納入風車は、冬場はマイナス50℃にも達する同地の極寒冷気候にも耐えられる仕様となっています。また本事業では、風車、ディーゼル発電機、蓄電池からなる「再エネ制御協調システム」を導入し、稼働中です。導入前の、ディーゼル発電機のみでの発電時に比べて、燃料使用量が削減されるため、CO2の抑制が期待されています。

完成した3機の風力発電機 KWT300



再エネ制御協調システム 開所式風景



ロシア風力発電の初メンテナンスをリモートで指導・支援



■ ロシアNIS貿易会（ROTOBO）は、発電事業を手がけるロシア3企業16人に、風力発電設備のメンテナンス研修を現地と日本を繋いだリモートで実施しました。この研修は、経済産業省の2020年度「新市場進出等支援事業」の一環で今回が5回目となります。





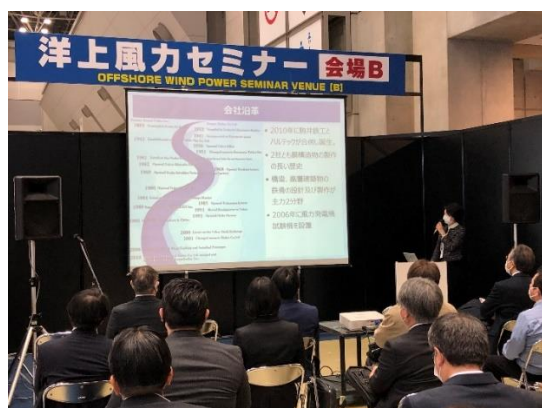
環境との調和



東京ビッグサイト「スマートエネルギーWEEK」出展



■ 風力や太陽光を利用した発電システムは、再生可能エネルギーとして、温室効果ガス排出削減に効果的で、脱炭素社会に欠かせないエネルギー源として注目されています。厳しい気象条件や地形条件で実績を積んだ『風力発電機KWT 300』のプレゼンテーションを行いました。



太陽光発電設備（スカイソーラープロジェクト）



◎ スカイソーラーのメリット（弊社HPから抜粋）

大部分が山地である日本は平地部分が小さく、用途制限のない地域は極わずかです。そのために、多くの平面を要するメガソーラー事業に適する土地を確保しづらいのが現状です。

中村勉総合計画事務所と当社は、現状の地形や土地利用を維持しながら、上空を活用するソーラー事業を提案します。

■ ケーブル式スカイソーラー：ハイポールに張ったケーブルに、ソーラーパネルを配置した吊構造です。



2015年8月から2016年6月まで富津工場で実証試験をし、安全性が確認されたため、松戸テクニカルセンター（TC）に移設して、商業運転を開始しました。（発電電力は東京電力に売電しています）

所在地：千葉県 松戸市

形式：上空ソーラー発電システム（14.5KW）

支柱間：22.4m、支柱高：4.5m

特記事項：ケーブル懸架型空中太陽光発電装置を開発（特許取得）

■ ハイポール式スカイソーラー：等間隔に設置したハイポールに梁を通し、ソーラーパネルを配置します。



所在地：福島県 会津若松市

施主：富士電機株式会社

形式：上空ソーラー発電システム（1.3MW）

特記事項：ハイポール型太陽光発電設備架台の設計、製作、基礎工事、据付。

また積雪対策として融雪設備設置工事を実施。



橋梁建設（架設）現場での環境に対する取組



安全・環境パトロール

12

つくも未来
つくりたい



■ 橋梁架設現場は、都心部、市街地はもちろん山間部、渡河部、海岸付近など自然と共存する場所での作業が多いことから、環境保全に対して細心の注意を払って作業を進める必要があります。

当社は、建設現場関係者（現場責任者、協力会社、店社管理者、安全管理室）と連携し、作業環境の安全性並びに周辺環境への対応の適切性の確認、現場作業従事者の安全意識の高揚を目的に、安全・環境パトロールを毎月、全稼働現場にて実施しています。

2020年度も引き続き、建設現場における作業環境（騒音・振動、水質汚濁、産業廃棄物、現場特有の環境側面等）に重点を置いて、全国に点在する現場のパトロールを実施しました。



コロナ禍による遠隔対応



パトロール風景



環境に対する個別取組

12

つくも未来
つくりたい



■ 騒音・振動対策、排出ガス対策

建設現場の騒音や振動の低減・防止、建設機械からの排出ガス規制の順守を図るため、低騒音・低振動タイプ、排出ガス規制適合の建設機器、重機などを選定しています。また、車両等の待機時の排出ガス抑制のために、アイドリングストップを推奨、指導しています。



オフロード法 《特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（2006.4.1施行）》

オフロード法は、建設機械等のオフロード車[※]の排出ガスを規制するため、2006年4月1日に施行されました。施行日以降に製作された新型車は、排出ガス基準を満たす基準適合表示を付したものでなければ国内では使用できません。

※オフロード車：公道を走行しないバックホウ、フォークリフト、ブルドーザー等の特定特殊自動車のことをいいます。



2014年式からは低燃費モードを表示するECOモードを搭載しています。

ECO-Sモードでは、超低騒音基準値より5dB低い騒音値を実現しました。



橋梁建設（架設）現場での環境に対する取組



環境に対する個別取組



第3次排出ガス対策型建設機械指定制度表示（可搬式建設機械の表示）

オフロード法又は道路運送車両法により排出ガス規制を受けていない建設機械（発動発電機、小型バックホウ等）メーカーから申請、国土交通省が指定後、表示が可能。

第3次排出ガス対策型建設機械指定制度で定められた技術基準を満たす。



超低騒音型建設機械表示

「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年建設省告示第1536号）の騒音基準値から6dB減じた値を下回る騒音の測定値を得た建設機械。



■ 新藻川橋騒音対策（吸音パネル）





橋梁建設（架設）現場での環境に対する取組



環境に対する個別取組

■ 水質汚濁防止



海、河川付近の橋梁建設現場では、海、河川等の用水路の汚染を防止するため、建設機器、重機などの日常点検・整備を実施し、油漏れ等による海、河川汚濁の防止を心掛けています。また、緊急時に備えてオイル吸着マット等を常備し、作業者に周知しています。



■ ソーラーパネル電源(照明)



河川付近の橋梁建設現場では、夜間照明の電源として、ソーラーパネルと蓄電池を用いた電源で、LED照明4基を点灯しました。





橋梁建設（架設）現場での環境に対する取組



環境に対する個別取組

12

つくる責任
つかう責任



産業廃棄物の分別

建設現場より発生する廃棄物は、廃棄物ごとにゴミ箱を設置し分別を徹底することで、廃棄量の削減とゴミのリサイクル資源化に努めています。



橋梁現場における地元交流

11

住み続けられる
まちづくりを



12

つくる責任
つかう責任



4

質の高い教育を
みんなに



■ 施工現場各地で工事見学会を開催し、地域との交流を図るとともに、施工内容への理解を深めて頂いています。



荻田工区 4 号橋夜間一括架設住民見学会



栗谷沢橋山形県立新庄神室産業高校 見学会



静間川橋地元交流 現場見学会

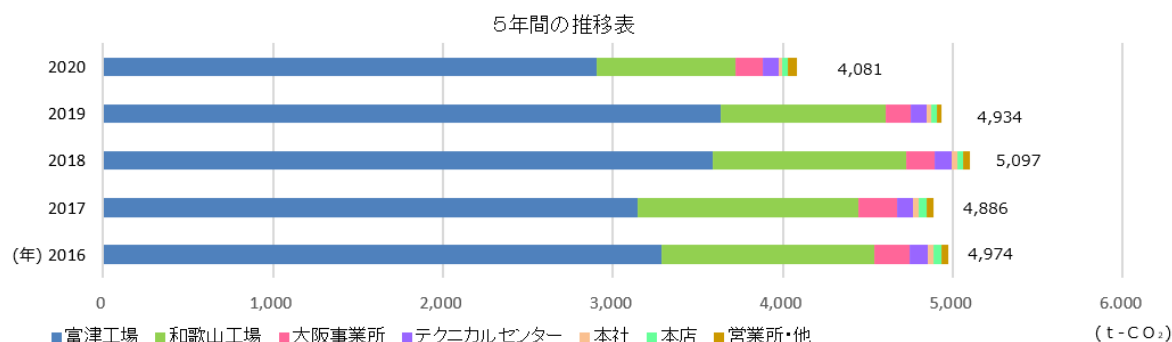


地球温暖化防止への取組

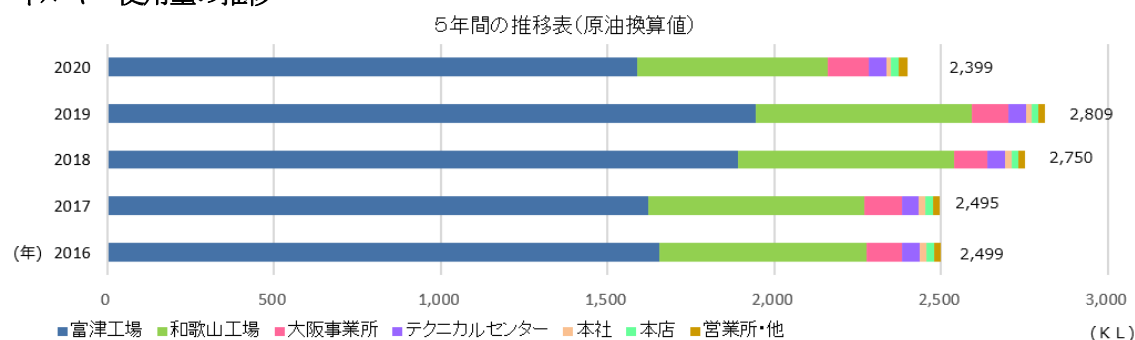
当社は、地球温暖化の原因となるCO₂排出量の削減のため、省エネルギー活動に積極的に取り組んでいます。製造工程では、ピーク電力を抑制する工程立案などさまざまな方法での効率改善化、生産設備導入の際には消費電力量の考慮等、省エネ視点での活動によりCO₂排出量の削減を図っています。



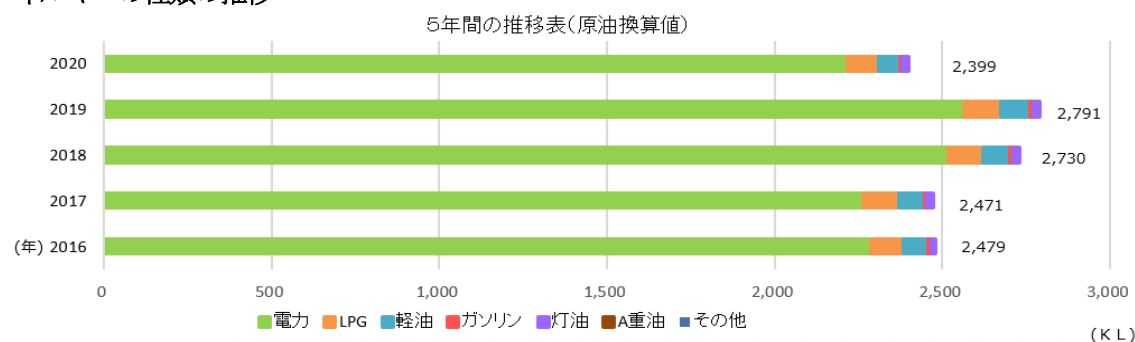
CO₂排出量の推移



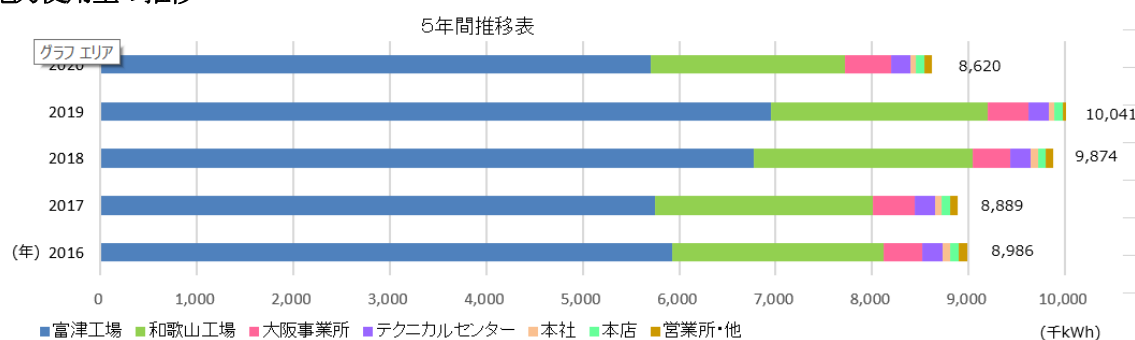
エネルギー使用量の推移



エネルギーの種類の推移



電力使用量の推移





環境製品への取組（実績紹介）



当社は、開発する製品に対し環境負荷低減を追求しエコプロダクツ（環境配慮型製品）の開発に取り組んでいます。



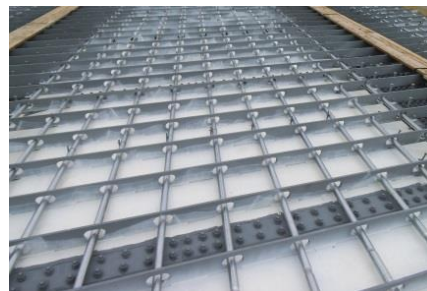
パイプスラブ（鋼コンクリート合成床版）

NETIS 番号：KK-040071-V（2017.4.20 掲載期間終了）

パイプスラブは、リブ（孔明き鋼板）とパイプ（構造用鋼管）とで構成された鋼板パネルがコンクリートと一体化することにより、大きな耐力力と高い耐久性を実現した「鋼コンクリート合成床版」です。

「安（安全、安心）」「新（新技術、新発想）」「短（短工期）」による建設コスト削減も特徴ですが、その高耐久性ゆえの長寿命化により、架け替えなどの更新期間の長期化が可能となり、施工に係る環境負荷が低減できるという利点があります。

※ パイプスラブは、日本ファブテック㈱、㈱HIインフラシステムおよび当社の3社による共同開発商品です。



Rアンカー（抜取り可能なアンカーボルト）

NETIS 登録：KT-180026-A

橋梁工事では、仮設部材などを既設コンクリート構造物に固定するために、仮設アンカーボルトを埋め込むことが多くあります。一般に、仮設アンカーボルトは完全に撤去することが困難で、コンクリート構造物内部に異物として残ってしまう問題がありました。

「R アンカー」は、アンカーボルトに特殊コーティングを施すことにより、使用後に完全に抜き取ることができるあと施工アンカーボルトです。「R アンカー」はコンクリートに優しく、既設インフラ構造物の持続可能性の向上に寄与できる製品です。



アロンブルコート® Z-X、Z-Y工法

NETIS 登録：CB-120013-VR

「アロンブルコート® Z-X、Z-Y工法」は、アクリルゴムを用いてコンクリート表面の剥落・劣化を防止する「コンクリート表面保護工法」で以下のような特長があります。

■「環境に優しい」

有機溶剤を一切含まず、オール水系材料としました。

■「コンクリートに優しい」

水蒸気透過性を従来以上に高め、コンクリート内部に残留している水分を発散できるようにしました。

■「メンテナンスが容易」

既設塗面を剥ぎ取ることなく、重ね塗りが可能です。

（剥ぎ取りの廃棄物を出さないことでECOを実現）

■「安価」

塗り重ね回数を6回から4回に減らし、材料及び施工面での経済的な優位性を実現しました。

※ 「アロンブルコート®Z-X、Z-Y 工法」は、東亜合成㈱と当社の共同開発商品です。

※ 文中の比較対象製品は共同開発者の東亜合成㈱の従来製品です。

※ 表面被覆材（下塗材）の内、アロンブルコート®P-300 は、グリーン購入ネットワーク(GPN)が運営する『エコ商品ねっと』に掲載されている商品です。なお、同サイトは多様な分野の環境情報を掲載し、商品選択の際に比較可能な環境データベースを公平に提供するもので、個別の掲載商品を推奨するものではありません。





会社概要



会社概要

商号 株式会社駒井ハルテック KOMAIHALTEC Inc.
 資本金 66 億 1,994 万円
 株式上場 東京証券取引所 市場第一部
 建設業許可 国土交通大臣 許可 (特-28) 第 142 号
 橋梁、鉄骨、風力発電設備、その他鋼構造物の設計、製作、建設、診断、
 補修、土木・建築工事の設計・請負、風力発電機による売電事業
 ISO9001、ISO14001
<https://www.komaihaltec.co.jp/>



事業所

本社	〒110 - 8547	東京都台東区上野一丁目 19 番 10 号	TEL 03(3833)5101
本店	〒550 - 0012	大阪市西区立売堀四丁目 2 番 21 号	TEL 06(4391)0811
札幌営業所	〒060 - 0001	札幌市中央区北一条西四丁目 2 番 12 号	TEL 011(251)1605
東北営業所	〒980 - 0014	仙台市青葉区本町二丁目 1 番 29 号	TEL 022(227)8724
群馬営業所	〒370 - 0831	群馬県高崎市あら町 129 番 1 号	TEL 027(384)4863
名古屋営業所	〒460 - 0003	名古屋市中区錦二丁目 20 番 8 号	TEL 052(684)8121
和歌山営業所	〒649 - 1122	和歌山県日高郡由良町神谷 805 番 2 号	TEL 0738(65)2841
中国営業所	〒730 - 0036	広島市中区袋町 5 番 38 号	TEL 082(247)4838
九州営業所	〒812 - 0013	福岡市博多区博多駅東二丁目 4 番 17 号	TEL 092(441)3665
富津工場	〒293 - 0011	千葉県富津市新富 33 番 10 号	TEL 0439(87)7470
和歌山工場	〒649 - 1122	和歌山県日高郡由良町神谷 805 番 2 号	TEL 0738(65)1234
大阪事業所	〒555 - 0041	大阪市西淀川区中島二丁目 5 番 1 号	TEL 06(6475)2111
テクニカルセンター	〒270 - 2214	千葉県松戸市松飛台 404 番 1 号	TEL 047(387)0170



関連会社

東北鉄骨橋梁(株)

【 本社 】	〒980 - 0014	宮城県仙台市青葉区本町二丁目 14 番 27 号	TEL 022(221)7511
【 岩沼工場 】	〒989 - 2421	宮城県岩沼市下野郷字新関迎 230 番	TEL 0223(22)1611
(株)シップス	〒270 - 2214	千葉県松戸市松飛台 404 番 1 号	TEL 047(384)5281
(株)プロバンス	〒270 - 2214	千葉県松戸市松飛台 404 番 1 号	TEL 047(388)4630
KH ファシリテック(株)	〒808 - 0027	福岡県北九州市若松区北湊町 9 番 27 号	TEL 093(771)2368



KOMAIHALTEC Inc.